

断により、落ち着いて行動しましょう。

POINT 2 有効な情報収集方法を紹介

気象庁 キキクル

(危険度分布)

気象庁が気象予報を基に作成しており、

地域に差し迫った土砂・浸水・洪水などの災害の危険度がひと目でわかります。



↑キキクルはこちら

千葉県防災ポータルサイト

千葉県の地震・津

波・台風などについて、詳しく知ることができます。



↑ポータルサイトはこちら

POINT 3 防災マップの確認

自宅や自分のいる場所を防災マップ(ハザードマップ)で確認し、洪水や津波による浸水などの災害リスク、避難場所・避難所などの情報をあらかじめ確認しておきましょう。

防災マップは、環境防災課で配布しているほか、町ホームページでも確認できます。



↑防災マップはこちら

指定緊急避難場所・指定避難所

NO	施設名称	所在地	指定緊急避難場所		指定避難所
			地震、土砂災害等	津波	
1	旧大総小学校	木戸台2012	○		○
2	横芝中学校	坂田池3-1	○	○	○
3	横芝小学校	横芝1800	○	○	○
4	文化会館	横芝922-1	○	○	○
5	横芝敬愛高等学校	栗山4508	○	○	○
6	旧上堺小学校	北清水181	○	○	○
7	旧日吉小学校	篠本5177	○		○
8	旧南条小学校	小田部1054	○		○
9	町民会館	宮川11907-2	○	○	○
10	町体育館	宮川11905	○	○	○
11	光中学校	宮川5883	○	○	○
12	光小学校	宮川4655	○	○	○
13	白浜小学校	木戸1334	○	○	○
14	テnderヴィラ九十九里	屋形5025-3		○	
15	セザールマンション	尾垂イ3513-39		○	
16	養護老人ホーム光楽園	木戸9628-9		○	
17	津波避難タワー	屋形5275-14		○	

POINT 4 避難場所・避難所の確認・家族の集合場所を決めておく

町では、大きな災害が起こった際に緊急的に避難し、身を守るための場所として指定緊急避難場所と、被災者が一定期間滞在することのできる指定避難所をそれぞれ指定しています。避難場所・避難所までの安全な経路の確認や、家族との合流場所を決めておきましょう。

POINT 5 平時から食料品等を備蓄しましょう

災害時は物流の停滞や電気・水道

等のライフラインの途絶などが想定されます。

また、災害発生直後は一時的な需要の高まりや物流の停滞によって、店頭でも商品不足が起こり、食料品や日用品の調達が困難になります。

町でも災害発生に備え、飲料水や食料、資機材等を備蓄していますが、数量にも限りがあり、すべてを賄えるわけではありません。

普段から各家庭でも少しずつ買い置きし、災害への備えとして、水や食料(最低3日分)、避難生活に必要な生活用品などを備蓄しましょう。

非常用持ち出し品の例

食料品	飲料水・乾パン・クッキー・アルファーマイ・カップめん・缶詰など
生活用品	懐中電灯・タオル・毛布・寝袋・歯ブラシ・下着・除菌ウェットティッシュ・せっけん・スリッパ(室内履き)・ごみ袋・乾電池・常備薬など
情報確認手段	ラジオ・携帯電話充電器
健康管理	マスク・体温計・アルコール消毒液
その他	日ごろから服用している医薬品・ヘルメット・防災ずきん・ゴム手袋など

POINT 6 持ち出し用避難物資を準備しましょう

避難時に必要な物を、分担して持つて行けるように準備しておきましょう。

また、大きな荷物は避難行動の妨げになる場合があるので、右の表を参考に必要最小限にし、貴重品や日ごろから服用している薬などは、非常持出袋(リュックなど)にまとめて持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

一時避難後、避難生活が長期化する場合は、被災状況が落ち着いてから、自宅に取りに帰ることも想定しておきましょう。